

## 柴田高教授退任記念号の発刊に寄せて

柴田高先生は、2023年3月に定年を迎えられ本学を退職されました。柴田先生は、1998年4月に本学に助教授として着任されました。2003年に教授に昇格され、2023年3月のご退職までの間に学生副部長並びに経営学研究科委員長として、学部生及び大学院生のためにご尽力くださいました。このような柴田先生の数々のご功績に対しまして、2023年6月に本学より名誉教授の称号を贈らせていただきました。心からの敬意と感謝の気持ちを込めて御礼申し上げます。

柴田先生は、1976年3月に東京大学工学部精密機械工学科をご卒業後、東京工業大学大学院総合理工学研究科精密機械システム専攻修士課程に進まれ、1978年3月に同課程を修了され工学修士号を取得されました。修士課程修了後、1978年4月にソニー株式会社に入社され、海外も含めてご活躍されました。

ソニー株式会社在職中の1991年3月に筑波大学大学院経営・政策科学研究科経営システム科学専攻修士課程にて経営学修士号を取得後、1992年4月に横浜市立大学大学院経営学研究科博士後期課程に進まれ、1995年3月に単位取得満期退学をされました。その間、静岡大学人文学部並びに関東学院大学経済学部にて非常勤講師もされておられます。1998年3月にソニー株式会社ご退職後、4月に東京経済大学経営学部に着任されました。

柴田先生の研究業績は、業績一覧にございます通り、多岐にわたります。たとえば、2019年ご発表の「東アジアにおける自動車産業の破壊的イノベーションの新しい形」や、2013年ご発表の「事業再建におけるリーダーシップ」をはじめ、経営戦略、競争戦略の他、イノベーション、リーダーシップ、デファクトスタンダード等、さまざまなテーマ、アプローチのご研究をされておられます。これらご研究の数々は、学部生及び大学院生の指導において活かされ、彼らの研究の充実及び高い満足度にもつながっています。

柴田先生は学会活動においても重要な役割を果たされました。日本経営品質学会会長の他、経営情報学会においても理事を2期お務めになられました。また、社会活動も積極的に行われ、通商産業省並びに経済産業省の調査委員会の委員の他、社団法人日本電子機械工業会半導体産業研究所の客員研究員として知見をご披露されてこられました。

幸いなことに私は、経営学科現代経営グループの教員として、柴田先生からさまざまなお話をお伺いする機会を多く得ましたが、柴田先生の興味関心領域の広さと深さ、クリティカルかつパースペクティブな視点に基づくご意見の数々に、いつもハッとさせられたことを懐かしく、そしてそのような機会が無くなってしまったことを寂しく思っております。

25年にわたり本学に奉職くださり、私たちをご指導くださった柴田先生が退職なさったのは大変残念なことではございますが、今後のご健勝とますますのご活躍を祈念いたします。

柴田高教授退任記念号の発刊に寄せて  
て，柴田先生への感謝の言葉とさせていただきます。

経営学部長 関口和代